報告書

2026年　1月　9日

屋　号	西条第九運営委員会	氏　名	[redacted]
題　名	第3回西条第九演奏会開催について		
期　間	令和7年12月14日（日）開演16時		

概　要

第3回西条第九演奏会開催のための過程と結果について報告します。

内　容

令和6年12月　　第2回演奏会終了後、第3回第九演奏会開催決定

令和7年4月　　会則作成、事務局設置

令和7年4月　　第3回第九演奏会開催のため、つながり基金の補助金を申請



令和7年5月　　クラウドファンディングで演奏会開催の費用を募るため準備開始

令和7年6月8日　　団員募集と演奏会開催、クラウドファンディングを周知してもらうために、SAIJO SOUPへ参加

広報活動として、今年初めて団員募集のチラシを作成し、市内外の合唱サークル、ピアノ講師等に配布

チラシに練習場所や練習日を掲載し、QRコードをつけ、SAIJO SOUPへの応援を呼び掛けた。

しかし、結局男声（テノール）の団員が集まらず、9月まで団員集めに奔走した。

次回からは西条市内だけではなく、他市への団員募集の呼びかけを積極的に行いたい。



令和7年7月29日　クラウドファンディング開始

団員のSNS、チラシを利用してクラウドファンディングを宣伝したが、思いのほか集まらなかった。

令和7年8月9日　　合唱団練習開始。初回は42名の参加。中学生と大学生は未参加（以降、リハーサル含め10回練習）



令和7年9月15日　　クラウドファンディング終了。（支援総額85,000円）

令和7年9月下旬　　西条市母子寡婦会へ演奏会への招待の連絡。10月下旬に親子20組分のチケットとチラシを送付。

演奏後、子ども3名おとな5名の方が演奏会にきていただけた。担当の[redacted]さんより、お礼を言っていただけた。

以降、プログラムに掲載していただける企業訪問、チラシやポスターの掲示依頼開始

企業訪問の内訳だが、当初実行委員の知り合いにのみ依頼していた。

合唱の練習時に、団員にも依頼したところ、想像以上にスポンサーが集まった(スポンサー225,000円)

問題、課題は多いが、今回は初めて、様々な場面で団員たちが協力し、演奏会を成功させ継続しようという動きを感じた。

来年からは、団員のグループライン等を通じて、早めのスポンサー活動を行いたい。

令和7年10月23日　SAIJO BASEにて『うちぬきサロン』参加。今回の演奏会と継続的な開催のための協力を依頼

自分たちが想像していたよりはるかにい周知度が低く、反省した。

令和7年10月25日　西条生涯学習の館にて、指揮者による演奏技術及びアンサンブル向上のための練習

令和7年11月16日　松山市清水公民館にて、指揮者によるテンポ・表現の統一を目的とした練習

令和7年12月　　地域のフリーペーパー、ふぁぶーるで取材を受ける。合唱団の絆が深まった。

令和7年12月7日　松山市北条ふるさと館でオーケストラ練習へ合唱団有志参加。指揮者の指導で明らかに良い演奏になっ

令和7年12月13日　指揮者、ソリストが加わっての全体練習。この時点では全く演奏が合わない

令和7年12月14日　本番。前日の全体練習からは想像できないほど、最高の演奏ができた。




また、当日に募金箱を設置したが、成功した。(52,631円)

令和7年12月14日　打ち上げ



課題・問題点

団員(男声、特にテノール)がなかなか集まらないことに対しての対応が遅かったこと(9月時点でまだ集まっていなかった)

クラウドファンディングでの活動資金が集まらなかったこと。次回は保留の予定。

フリーペーパーの取材、ラジオ出演、どれも演奏会直前になってしまった。

スポンサーの締め切りが当初10月末だったが、12月まで延長しなければならない状況になった。

4月に組織図を作成したが、形骸的なものになった。

今後の活動・対策

全てにおいて、対応が遅い。実行委員会を詳細に組織化し、業務の割り振りが必要である。

男声団員の募集早めに、そして西条市内にとどまらず、松山市や今治市の合唱団体にも声掛けをしていく。

１２月に配布されたふぁぶーるの取材を夏に受け、早めに出してもらえれば、集客は大幅に見込めるのではないかと思う。

第4回の演奏会の日時はすでに決定（令和８年１２月１３日）している。

今回の演奏会では、実行委員ではない、一般の合唱団員の協力が大きかった。次回からは早めに協力要請をする。

今後も地域の絆を深め、老若男女問わず、音楽文化を育む活動として最低１０回は継続したい。

上記の問題点をふまえ、実行委員の会議を増やし、第4回の演奏会を開催したいと思う。